

令和3年度
学校自己評価報告書

令和4年3月

学校法人阿佐ヶ谷学園
阿佐ヶ谷美術専門学校

1. 学校の教育目標

本校の目的は、アートの教育を以って理想的真、善、美の世界を現実化することにある。そのプロセス、成果によって、社会及び世界に貢献しようとする。その為には精神の自由が必要であり、それは総合性によって得られ、また人間は自然の一員として、そこから学び、それらを通し成業を果たし、成就へと向かう。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

学科ごとの良質なカリキュラムの設定

(学校独自の理念を基軸に)

就職や仕事に結びつく効果的な授業

(学生と社会、それぞれのニーズのバランス)

学生の学びを応援できる充実した施設環境の整備

(リモート授業を活かせる環境の整備)

学生生活における体調管理および保健指導

(新型コロナウイルス感染症等に対応する管理、保健指導)

社会環境に合わせた柔軟な対応

(社会の変化してゆく枠組みに対応)

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
・学校における職業教育の特色は何か	3
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

1 課題

就業意識や専門的職業への挑戦の意思などを育てる過程の学生と保護者との意識共有。

多様化する進路ニーズへの対応、学生のレベルに応じた対応。

2 今後の改善方策

専門分野での就業意識の育成を学校で、自立や将来への目標をもって就職活動するサポートを家庭でやっていただくなどの連携が必要。

最新の業界のニーズに適応した授業・教員を設定する。

3 特記事項

(2). 学校運営

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	3
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

1 課題

過去の卒業生の情報が、現在のシステムに統合されていない。

2 今後の改善方策

学生管理システムの刷新。

3 特記事項

(3). 教育活動

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
・授業評価の実施・評価体制はあるか	2
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	2

・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	2

1 課題

教員の研修のためのオンラインによる専門的外部教育システムの活用。

最新の著作権教育や社会的多様性についてのレクチャーを、常勤／非常勤の講師の方に共有する仕組み・機会が必要か。

企業人と学校の情報交換など、求人像や教育内容の検討がなされていない。

2 今後の改善方策

学生の学習への適応も視野に、最新の専門的知識や技術を学べるオンラインの外部教育システムの活用などもまず教員のスキルアップに検討していけたら有効かと考える。

3 特記事項

現役の実務家教員の指導によって業界水準の教育の質を担保している。

(4). 学修成果

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・就職率の向上が図られているか	3
・資格取得率の向上が図られているか	2
・退学率の低減が図られているか	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	3

1 課題

コロナの影響による退学率、休学率の上昇。

学生／学校／会社の就職観にずれがあるように見受けられる。

第一線で活躍する卒業生と在校生の繋がりが薄い。

2 今後の改善方策

カウンセリングや修学支援。

授業内でレクチャーし、就職観のずれのギャップを埋める。

同窓会の活用。

3 特記事項

(5). 学生支援

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	2
・学生の生活環境への支援は行われているか	3
・保護者と適切に連携しているか	3
・卒業生への支援体制はあるか	3
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

1 課題

インターンシップを活発にし、就業体験を増やす。

2 今後の改善方策

3 特記事項

(6). 教育環境

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
・防災に対する体制は整備されているか	3

1 課題

建物の老朽化により、修繕が必要な箇所が多い。

コロナ禍により全校的な防災訓練が実施できない。

2 今後の改善方策

建物単位での改修などを検討。

映像を利用した防災訓練の工夫。

3 特記事項

(7). 学生の受入れ募集

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
・学納金は妥当なものとなっているか	4

1 課題

18歳人口の減少化。

2 今後の改善方策

社会人応募への対応。

3 特記事項

(8). 財務

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	3

1 課題

2 今後の改善方策

3 特記事項

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
・自己評価結果を公開しているか	3

1 課題

2 今後の改善方策

3 特記事項

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3

1 課題

2 今後の改善方策

3 特記事項

(11). 国際交流

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2

1 課題

2 今後の改善方策

3 特記事項

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

例年の自己評価データとの比較で考えると、「ほぼ適切」や「適切」の方に結果が動いている様に思われます。

教育理念や目標、学校運営、は年毎に良い評価へ動いている。教育活動も全体としては良好ですが、外部の業界団体、企業との関わりは変わらず弱い部分があります。授業の評価体制はそれぞれの部門が個々に行っているため、全体のアンケートでは良い結果に結びついていないが、クレームや苦情、要望を受け付ける機関は作ってあるので、学生の意見が無視されることはなく、100パーセントではないが、対応もできていると思われます。

現在、授業内容の変化も一層早くなっており、その内容のために、学校独自で教員を研修し育成している時間の余裕はないが、それでもコンプライアンスやハラスメントの問題では、セミナーや資料データを配り、就業規則もいつでも確認できる体制をとっている。資格を取れる授業などは少ないが、そもそも卒業生の就職先自体が資格重視よりも専門スキル、スペックを細かく求める業界が多いので、今後もこの状況は変化しないと思われます。

学生支援については、概ね評価されている様だが、コロナ禍もあり、課外活動やボランティア活動などは推奨していません。コロナ禍が続くこともあり、元に戻すのは相当時間がかかると想像されます。教育環境はソフト面では評価が良いが、ハード面での(校舎が古い)向上は経費的な問題もあり、改善が難しい。しかしゆっくりではあるが前向きに善処している姿勢は、全体的に認められているかと思われます。情報公開は、ミニセミナーや就業規則の見直し、周知などが意識されたことが、以前より良い評価につながっております。

地域貢献、ボランティアなどはコロナ禍が収まってからの検討となるかと思われます。国際交流としてのキーになる留学生に対しては、彼らの教育面、生活面など可能な範囲でスタッフがよく対応していると感じられます。

令和3年度
学校関係者評価報告書

令和4年3月

学校法人阿佐ヶ谷学園
阿佐ヶ谷美術専門学校

学校関係者評価 (令和2年度自己評価に基づく)

開催日時: 2021年 3月25日 10:30

出席者: 理事長 三輪孝幸
学校長 甲斐光省
評議委員代表 橋場尚樹
卒業生代表 小山弘

学校関係者評価・意見

<項目1 教育理念・目標>

教育理念に関して全体的に評価は高いが、保護者への周知という点ではマイナスな評価が多い。それ以外は比較的高め。ただ、評価が高い項目の割に保護者への対応や就職率などについて言及した課題が多い。

保護者への連絡等の手間を省くためには、紙からWEBへの移行が必要である。

<項目2 学校運営>

学生管理システムに課題があるが、現状は、長年にわたり本校独自にシステムをカスタマイズしてきたこともあり、市販のシステムへすぐに移行するのは困難である。今後、市販の管理システムが改良され、本校のシステムに柔軟に対応できるようになれば、移行の可能性が出てくる。

<項目3 教育内容>

コロナの影響で業界との接点が失われ、業界の最新の情報が得られなくなってしまったが、コロナが終息すれば、ある程度業界との繋がりが戻り、カリキュラムへ反映できる。前期、後期などに授業評価を検討する余地がある。

<項目4 学習効果>

コロナ禍による、経済低迷の影響から就職の間口が狭まっているので、就職率が低下傾向を示す。

一方で、オンラインでの面接が一般化するなど、就職活動も様変わりしたので、学校として、オンラインで行う就職活動に対応できるように指導を強化していく必要がある。

<項目5 学生支援>

現状は大きな問題は見られない。

<項目6 教育環境>

校舎の老朽化の問題は建物を建て替えないと解決しない。最近近隣で不審者の目撃情報があるので、通りに面している校舎の門は19時には閉めることにした。また、校舎入口に防犯カメラを設置済み。

<項目7 学生募集について>

18歳人口が減少していくなかで、今後は社会人の受入れについての議論が必要。社会人といっても、余生の趣味として学校で学ぶのか、仕事で必要なスキルを身につけるために学ぶのか、次の転職の準備として学ぶのかなどによって、学校に対するニーズは変わってくる。

<項目8 財務>

ホームページに毎年情報が更新されている。校舎の老朽化については別途検討の余地がある。

<項目9 法令の遵守>

個人情報の掲載、非公開等について今後どのような対策を講じるのかを検討中

<項目10 社会・地域貢献>

学生が主体的にボランティア活動を行う場合には、支援はするが学校が積極的にボランティア活動の斡旋することはしない、という形で考えている。「公開講座」の開催は社会人のニーズを把握する機会として活用できるため、今後も継続的に検討していく

<項目11 国際交流>

現在は、コロナ禍ということもあり、留学生の入学者数や国際交流については厳しい状況にある。グループ校などは留学生は口コミで入学してくることが多い。これは阿佐ヶ谷学園の教育に対する、外部の高い評価を示すものといえる。本校でもその教育のノウハウを参考にするという方向も検討される。